

## シャープ 戴社長 新年のご挨拶



シャープ株式会社  
社長 戴正呉

### 社会的責任を全うし、 日本社会、さらには国際社会の発展に貢献します

社長の戴正呉です。  
新年、明けましておめでとうございます。  
また、平素より当社の事業活動に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、昨年12月7日に、一昨年8月の経営基本方針で掲げた大きな目標の一つであり、社友会の皆様とお約束でもある、東証一部への復帰を果たすことができました。これもひとえに、社友会の皆様を始めとした全てのステークホルダーのご支援の賜物と、心より感謝しております。本当にありがとうございます。

新体制発足以降、シャープは社員全員の弛まない努力により、本当に大きく変わることができました。売上高は前年同期に対して大幅に伸長し、利益は黒字化はもとより、リーマンショック以前の水準にまで回復するなど、業績は大きく改善しました。さらに、社員のコスト意識や仕事のスピード、チャレンジする意欲なども大幅に向上し、また、将来の成長を支える投資や人材の獲得も着実に進展しています。今回の東証一部復帰は、こうした実績が評価されたものであり、まさに「シャープ復活の証」と言うことができます。

ですが、これはゴールではなく、輝けるグローバルブランドSHARPの実現に向けた一つの通過点であり、ここからが肝心です。

今後は、次なる目標、中期経営計画の完遂に向け、事業ビジョン「8KとAIoTで世界を変える」のもと、「人に寄り添うIoT」「8Kエコシステム」の実現に向けたトランスフォーメーションを加速し、One SHARPで、飛躍的成長をめざしてまいります。これは社長である私の使命であり、何としてもやり遂げる覚悟です。さらに、こうした取り組みを進める中で、東証一部の日本企業として、コンプライアンス遵守をより一層心掛けてまいります。これにより、企業としての社会的責任をしっかりと果たし、日本社会、さらには国際社会の発展に貢献してまいりたいと考えています。

昨年のお年初のご挨拶で皆様にお約束した通り、2017年を「シャープ復活の年」にすることができました。シャープに関わる全ての方々と、喜びを共に分かち合えたことを私自身、本当に嬉しく思っています。

そして、本年、2018年は、「シャープ飛躍の年」にしたいと考えています。ただ、「飛躍」と言っても、単に売上や収益を拡大するというものではありません。当社の経営理念に示された、「広く世界の文化と福祉の向上に貢献する」、「会社の発展と一人一人の幸せとの一致をはかる」、「全ての協力者との相互繁栄を期す」ことができこそ、「本当の飛躍」だと考えています。

この「本当の飛躍」に向け、今後も引き続き全社一丸となって取り組み、シャープを、日本を代表する企業へと成長させていきたいと考えておりますので、より一層のご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、社友会の皆様の益々のご健勝をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

以上